令和6年度第10回岡崎市農業委員会総会 議事録

1 開会の日時及び場所

令和7年1月7日(火)

午前9時30分から

岡崎市役所 福社会館6階 大ホール

2 会議に付した議案

(1) 議案

議案第58号 農地又は採草放牧地の権利移動の許可の申請について

議案第59号 特定農地貸付の承認申請書について

議案第60号 農地又は採草放牧地の転用のための権利移動の許可の申請について

議案第61号 生産緑地に係る農業の主たる従事者の証明願について

議案第62号 非農地通知交付申請について

議案第63号 農用地利用集積計画について

議案第64号 農用地利用集積等促進計画案について

議案第65号 農用地利用計画変更について

議案第66号 地域計画の策定について

(2) 報告

報告第43号 農地又は採草放牧地の賃貸借の解約等の通知について

報告第44号 現況証明願について

報告第45号 農地の改良のための届出の受理について

報告第46号 農地の転用のための届出の受理について

報告第47号 農地又は採草放牧地の転用のための権利移動の届出の受理について

3 出席委員

(農業委員)

1番 石川 修次、2番 木俣 壽人、3番 酒井 功二、4番 柴田 若江

5番 竹田 圭一、6番 浅岡 治徳、7番 太田 智代、8番 太田 政俊

9番 神谷 六雄、10番 酒井 美明、11番 成田 恭淑、12番 保田 眞吉

13番 加藤 健一、14番 内藤 成一郎、15番 二村 誓也、16番 羽根田 正志

17番 片岡 幸雄、18番 近藤 靖一、19番 鈴木 泰孝

(農地利用最適化推進委員)

20番 市川 充、21番 小野 盛光、22番 中根 良夫、23番 太田 立身

24番 倉橋 寿樹、25番 畔柳 雅人、26番 柴田 享、27番 原田 隆志

28番 太田 昌宏、29番 高木 政昭、30番 八田 導英、31番 加藤 良則

32番 畔柳 則宏、33番 新家 和義、34番 新實 文夫、35番 阿部田 光春

36番 鈴木 安光、37番 山口 和雄、38番 山内 隆一

4 欠席委員 なし

5 出席事務局職員等

- (1) 農業委員会事務局 事務局次長、総務係係長、主査、主事
- (2) 農務課 農産畜産係係長、主査

6 議事の内容

会長：それでは、ただ今から農業委員会総会を開会いたします。本日欠席委員はおりません。よって定足数に達しております。議事に入ります前に議事録署名者2名の選出について、お諮りします。会長一任で、ご異議ございませんか。

委員：（異議なし）

会長：それでは19番の鈴木 泰孝委員と2番の木俣 壽人委員をお願いいたします。それでは議事にしがいまして、議案第58号を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

事務局：（農地又は採草放牧地の権利移動の許可の申請について、議案書に沿って2件説明を行った）

会長：ありがとうございました。事務局の説明に引き続き、調査担当委員の意見を申し上げます。なお、申請番号43番が加藤健一委員が申請当事者となってみえます。そちらについては後程審議いたしますので、申請番号42番について調査担当委員の意見を申し上げます。

成田 委員：申請番号42番 調査年月日は令和6年12月22日。本案件は、譲渡人が今後農地を維持管理していくことが難しいため、譲受人が申請地を譲り受けて耕作していきたいというものです。調査の結果、譲受人が今後しっかり耕作を行っていくことが確実に認められます。よって、調査員総合意見としては可といたします。

会長：ありがとうございました。ただ今の議案についてご質問はございませんか。

（なし）

会長：無いようですので採決に移ります。原案に賛成の農業委員の方は挙手をお願いします。

（挙手全員）

会長：全員賛成と認め、許可するものとします。次に、申請番号43番を審議するため、加藤委員には一度退室していただきます。

（加藤委員退出）

会長：それでは、申請番号 43 番について調査担当委員の意見をお願いいたします。

新家 委員：申請番号 43 番 調査年月日は令和 6 年 12 月 21 日。本案件は、譲渡人が今後農地を維持管理していくことが難しいため、譲受人が申請地を譲り受けて耕作していきたいというものです。調査の結果、譲受人が今後しっかり耕作を行っていくことが確実に認められます。よって、調査員総合意見としては可といたします。

会長：ありがとうございました。ただ今の議案についてご質問はございませんか。

(なし)

会長：無いようですので採決に移ります。原案に賛成の農業委員の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

会長：全員賛成と認め、許可するものとします。それでは、加藤委員には入室していただきます。次に、議案第 59 号を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

事務局：(特定農地貸付の承認申請について、議案書に沿って 2 件説明を行った)

会長：ありがとうございました。事務局の説明に引き続き、調査担当委員の意見をお願いします。

石川 委員：申請番号 3 番 調査年月日は令和 6 年 12 月 29 日。承認申請者の氏名は別紙議案書記載のとおりです。本申請地は市街化調整区域内の農地となっております。位置や面積等は特に問題ありません。募集方法においても特に問題ありません。申請地の一部は耕作されておらず、草刈管理のみとなっていた農地であるため、市民農園として今後耕作され、管理されていくことは良いことだと考えます。その他問題となる項目はありません。よって、調査員総合意見は承認といたします。

羽根田 委員：申請番号 4 番 調査年月日は令和 6 年 12 月 22 日。承認申請者の氏名は別紙議案書記載のとおりです。本申請地は市街化調整区域内の農地となっております。位置や面積等は特に問題ありません。募集方法においても特に問題ありません。申請地の一部は耕作されておらず、草刈管理のみとなっていた農地であるため、市民農園として今後耕作され、管理されていくことは良いことだと考えます。その他問題となる項目はありません。よって、調査員総合意見は承認といたします。

会長：ありがとうございました。ただ今の議案についてご質問はございませんか。

酒井(功) 委員：岡崎市が申請人となっているものと、個人が申請人になっているものの違

いは何でしょうか。

事務局：開設者が違うため申請人が違っております。

酒井(功) 委員：個人の方が岡崎市に依頼をすれば、申請人が岡崎市になるということでしょうか。

また、岡崎市が開設者となることのできるエリアなどが決まっているのでしょうか。何らかの基準に基づいて開設者が変わるということでしょうか。

事務局：基準があるわけではなく、申請地の状況及び地主の意向に基づき市が開設し管理していくか、個人で開設し管理していくかを判断しております。

酒井(功) 委員：それでは岡崎市としては地主の方によって申請者を変えるという対応を取っているということでしょうか。

事務局：その通りです。

会長：ありがとうございました。その他に議案についてご質問はございませんか。

(なし)

会長：無いようですので採決に移ります。原案に賛成の農業委員の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

会長：全員賛成と認め、承認するものとします。次に、議案第 60 号を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

事務局：(農地又は採草放牧地の転用のための権利移動の許可の申請について、議案書に沿って1件説明を行った)

会長：ありがとうございました。事務局の説明に引き続き、調査担当委員の意見をお願いします。

羽根田 委員：申請番号 85 番 調査年月日は令和 6 年 12 月 29 日。本案件は、自動車整備業を営んでいるが、現在借りている支店敷地と駐車場を返却しなければならなくなったため、申請地を駐車場及び事務所として転用したいというものです。調査の結果、地域農業への影響はありません。また、被害防除措置、用排水関係事項に問題はありません。よって、調査員総合意見としては可といたします。

会長：ありがとうございました。ただ今の議案についてご質問はございませんか。
(なし)

会長：無いようですので採決に移ります。原案に賛成の農業委員の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

会長：全員賛成と認め、許可するものとします。次に、議案第 61 号を議題といたします。
事務局から説明をお願いします。

事務局：(生産緑地に係る農業の主たる従事者の証明願について、議案書に沿って 1 件説明を行った)

会長：ありがとうございました。事務局の説明に引き続き、調査担当委員の意見をお願いします。

高木 委員：申請番号 5 番 調査年月日は令和 6 年 12 月 29 日。本案件は、申出事由の生じた方が、病気をされ体調不良により農業に従事することができなくなったことによるものです。調査の結果、対象者の方は経営主として農作業を行っていたことが確認できました。よって、農業の主たる従事者に該当しますので、調査員総合意見としては可といたします。

会長：ありがとうございました。ただ今の議案についてご意見、ご質問はございませんか。

(なし)

会長：無いようですので採決に移ります。原案に賛成の農業委員の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

会長：全員賛成と認め、証明するものといたします。次に、議案第 62 号を議題といたします。
事務局から説明をお願いします。

事務局：(非農地通知交付申請について、議案書に沿って 2 件説明を行った)

会長：ありがとうございました。事務局の説明に引き続き、調査担当委員の意見をお願いします。

石川 委員：申請番号 11 番 調査年月日は令和 7 年 1 月 4 日。現地で確認したところ、当該地については人が立ち入ることが困難なほど山林化しており、今後農地として利用す

るのは不可能な状況でした。よって、調査員総合意見としては可といたします。

申請番号 12 番 調査年月日は令和 7 年 1 月 4 日。現地で確認したところ、当該地については人が立ち入ることが困難なほど山林化しており、今後農地として利用するのは不可能な状況でした。よって、調査員総合意見としては可といたします。

会長：ありがとうございました。ただ今の議案についてご質問はございませんか。

(なし)

会長：無いようですので採決に移ります。原案に賛成の農業委員の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

会長：全員賛成と認め、非農地と認定し、通知するものとします。次に、議案第 63 号を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

事務局：(農用地利用集積計画について、議案書に沿って説明を行った)

会長：ありがとうございました。ただ今の議案について御質問はございませんか。

(なし)

会長：無いようですので採決に移ります。原案に賛成の農業委員の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

会長：全員賛成と認め、決定するものといたします。次に、議案第 64 号を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

事務局：(農用地利用集積等促進計画案について、議案書に沿って説明を行った)

会長：ありがとうございました。ただ今の議案についてご意見、ご質問はございませんか。

(なし)

会長：無いようですので採決に移ります。原案に賛成の農業委員の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

会長：全員賛成と認め、決定するものといたします。次に、議案第 65 号を議題といたしま

す。事務局から説明をお願いします。

事務局：（農用地利用計画変更について、議案書に沿って説明を行った）

会長：ありがとうございました。事務局の説明に引き続き、調査担当委員の意見を申し上げます。

木俣 委員：申請番号1番 調査年月日は令和6年12月31日。本案件は、申請地の隣地の農地を親から引き継ぎ営農していくにあたり、耕作のしやすい申請地に農家住宅を建築したいというものです。調査の結果、農振除外による地域農業への影響はありません。また、被害防除措置、用排水関係事項に問題はありません。よって、調査員総合意見としては可といたします。

浅岡 委員：申請番号2番 調査年月日は令和6年12月21日。本案件は、現在、自動車整備業を営んでいるが、手狭になってきたため、申請地に工場を建築するにあたり農用地から除外したいというものです。調査の結果、農振除外による地域農業への影響はありません。また、被害防除措置、用排水関係事項に問題はありません。よって、調査員総合意見としては可といたします。

酒井(美) 委員：申請番号3番 調査年月日は令和6年12月23日。本案件は、現在賃貸住宅で生活しているが、手狭になってきたため、申請地に分家住宅を建築したいというものです。調査の結果、農振除外による地域農業への影響はありません。また、被害防除措置、用排水関係事項に問題はありません。よって、調査員総合意見としては可といたします。

成田 委員：申請番号4番 調査年月日は令和6年12月22日。本案件は、現在賃貸住宅で生活しているが、手狭になってきたため、申請地に分家住宅を建築したいというものです。調査の結果、農振除外による地域農業への影響はありません。また、被害防除措置、用排水関係事項に問題はありません。よって、調査員総合意見としては可といたします。

二村 委員：申請番号5番 調査年月日は令和6年12月25日。本案件は、現在賃貸住宅で生活しているが、手狭になってきたため、申請地に分家住宅を建築したいというものです。調査の結果、農振除外による地域農業への影響はありません。また、被害防除措置、用排水関係事項に問題はありません。よって、調査員総合意見としては可といたします。

八田 委員：申請番号6番 調査年月日は令和6年12月22日。本案件は、中部電力が鉄塔の建て替えを行うというものです。調査の結果、農振除外による地域農業への影響はありません。また、被害防除措置、用排水関係事項に問題はありません。よって、調査員総合意見としては可といたします。

会長：ありがとうございました。ただ今の議案についてご質問はございませんか。

竹田 委員：農家要件について、農地を取得した時点で農家と認定し、農家住宅の申請ができるようになるのでしょうか。

事務局：農用地利用計画変更の基準になりますが、事業計画者の農家世帯員の所有する土地であること、既存の農家住宅では引き続き居住できない合理的な理由があること等があります。今回申請については新規農家ということもあり、様々な聞き取りを行っております。

竹田 委員：新規耕作者がしっかり耕作しているか不明確な中で、すぐに農家住宅の申請が提出され、それを許可するのはいかがなものかと思う。本来農家というものは農業で家計を支えている方を指すと思われませんが、事務局として農家の基準があるのでしょうか。

事務局：新規就農者の農家住宅の申請は数少ないケースで、慎重に審査をさせていただいております。今回のケースについては、営農計画書を添付させ、今後の耕作について具体的に記載させることで認めることとしました。そのため、どんな方でも申請を受理しているというわけではございません。

会長：ありがとうございました。他にご質問はございませんか。

会長：無いようですので採決に移ります。原案に賛成の農業委員の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

会長：全員賛成と認め、変更するものいたします。次に、議案第 66 号を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

事務局：(地域計画の策定について、議案書に沿って説明を行った)

会長：ありがとうございました。ただ今の議案についてご意見、ご質問はございませんか。

(なし)

会長：無いようですので採決に移ります。原案に賛成の農業委員の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

会長：全員賛成と認め、決定するものいたします。次に採決によらない案件について事務局より一括して報告をお願いします。

事務局：(以下について、報告書に沿って説明を行った)

農地又は採草放牧地の賃貸借の解約等の通知について	9件
現況証明願について	1件
農地の改良のための届出の受理について	2件
農地の転用のための届出の受理について	45件
農地又は採草放牧地の転用のための権利移動の届出の受理について	27件

会長：本件につきまして、何かご質問はございませんか。

(なし)

会長：無いようですので、報告事項は終了します。以上で、本日の議事日程は終了しました。
これを持ちまして、本日の農業委員会総会を閉会いたします。

—午前10時30分終了—

上記議事録の正確を期するためここに署名する。

岡崎市農業委員会会長

岡崎市農業委員会委員 (19番)

岡崎市農業委員会委員 (2番)